

「ビーバーの大工事」

2年2組

1 単元の目標と評価規準

目標：文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	① 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ② 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	① すすんで大事な言葉を探しながら読み、これまでの学習を生かして考えたことを友達と伝え合おうとしている。

2 教材について

おわり		中																はじめ		
まとも		順序④ 巣を作る ビーバー				順序③ ダムを作るビーバー						順序② 木を運び ビーバー		順序① 木を切り倒すビーバー						話題提示
⑳		㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	㊲		
ビーバーがダムを作るのは、あんぜんなすを作るためである。		すの入り口は、水の中にある。ビーバーはおよぎ上手。(秘密)	ダムと同じように、木と石とををつみ上げて、すを作る。	ダムは、みずうみのまん中にすを作る。(秘密)	水がせき止められると、内がわにみずうみがでる。	高さ二メートル、長さ四百五十メートルもある大きなダムもある。	川の水をせきとめるりっぱなダムがでる。	夕方から夜中まで、家ぞくそうてでしごとをつづける。(秘密)	ふつうで五分間、長いときは十五分間も水の中にもぐっている。(秘密)	家ぞくで木をはこんでならべ、石とどろでしかりかためる。(秘密)	木をくわえて水の中にもぐって、ダム作りをする。(作業)	水かきのある後ろあしとオールのような形のおてよう。(秘密)	切りたおした木をかみ切り、川の方に引きずり、上手におよいでこぶ。(作業)	あちこちで、ポプラやヤナギの木がつきつきにたおされる。	ドシン、ドシン。(木がたおれる音)	するどくて大きい歯は、まるで大工さんののみのようだ。(秘密)	すごいはやさで木をかじり、たちまち太い木がたおれる。(作業)	ガリガリ、ガリガリ。(ビーバーが木をかじる音)		
																		ここは、北アメリカの大きな森の中の川のほとりである。		

本教材は、ビーバーの巣作りについて、ビーバーの体の構造と機能を関連させて説明されている。「ビーバーの大工事」という題名に引き付けられ、ビーバーの「ひみつ」を見付けていくことに興味をもって読み進めることができる教材である。

3 単元計画（全8時間）

次	時	学習目標	学習活動
第一次	1	・ビーバーのひみつに興味をもつことができる。	○「これは何でしょう」クイズをする。 ○ 範読を聞く。 ○ 初めて知ったことや感想を書く。
	2	・教材文を読み、大まかな内容をつかむことができる。	○ 本文を音読する。（追い読み・一斉読み） ○ 形式段落を記入する。 ○ ビーバーがしていることを見付けて挿絵を並び替える。
第二次	3	・重要な語句に気を付けて、ビーバーの工事の内容（木を切り倒す様子）と体のひみつを読み取るができる。	○形式段落①～⑦までを音読する。 ○ビーバーが木を切り倒す様子と体のひみつ（歯やあご）を想像しながら、ダウト読みや動作化を行う。（ぐいぐいとかじる様子） ○ワークシートにひみつをまとめる。
	4 2組 本時	・重要な語句に気を付けて、ビーバーの工事の内容（木を運ぶ）と体のひみつを読み取り、説明することができる。	○形式段落⑧⑨を音読する。 ○ダウト読みやセンテンスカードを使って、ビーバーが切り倒した木を運ぶ様子を動作化したり挿絵で確認したりする。 （展開1） ○体のひみつ（後ろ足、尾）を説明する。 （展開2） ○ワークシートに書き、ペアで確認する。
	5 1組 本時	・重要な語句を見付け、ビーバーの工事の内容（ダムを作る）とビーバーのひみつを読み取り、説明することができる。	○形式段落⑩～⑬を音読する。 ○ダウト読みやセンテンスカードを使って、ダムを作る順序を確認し、動作化する。 （展開1） ○ビーバーのひみつ（5～15分間潜る・家族の行動）を説明する。 （展開2） ○ワークシートに書き、ペアで確認する。
	6	・ビーバーが作った大きさや長さを読み取るができる。	○形式段落⑭～⑮を音読する。 ○ダウト読みやクイズをして、ダムの高さや長さを表す言葉を確認する。 ○写真や動画などを見て、具体的な長さを実感する。（学校の中で450mを歩く）
	7	・ビーバーの巣のひみつを見付けることができる。	○形式段落⑯～⑳を音読する。 ○ダウト読みやセンテンスカードを使ってダムの場所や特徴を表す言葉を確認する。 ○ダム作りの目的を本文と挿絵で確認しペアで伝え合う。（キーワード確認する）
	8	・自分のお気に入りのビーバーのひみつを友達と伝え合うことができる。	○ビーバーのひみつを振り返り、一番気に入ったひみつをワークシートに書く。 ○ペアで伝え合う。

4 全力参加のための手立て

動作化

ビーバーが木を切り倒してダムを作る過程を、本文に基づいて動作化する。

→内容理解

センテンスカードの並べ替え

センテンスカードを並べ替えることで、事例の文の正しい順序に気付く。

→文の構造の理解

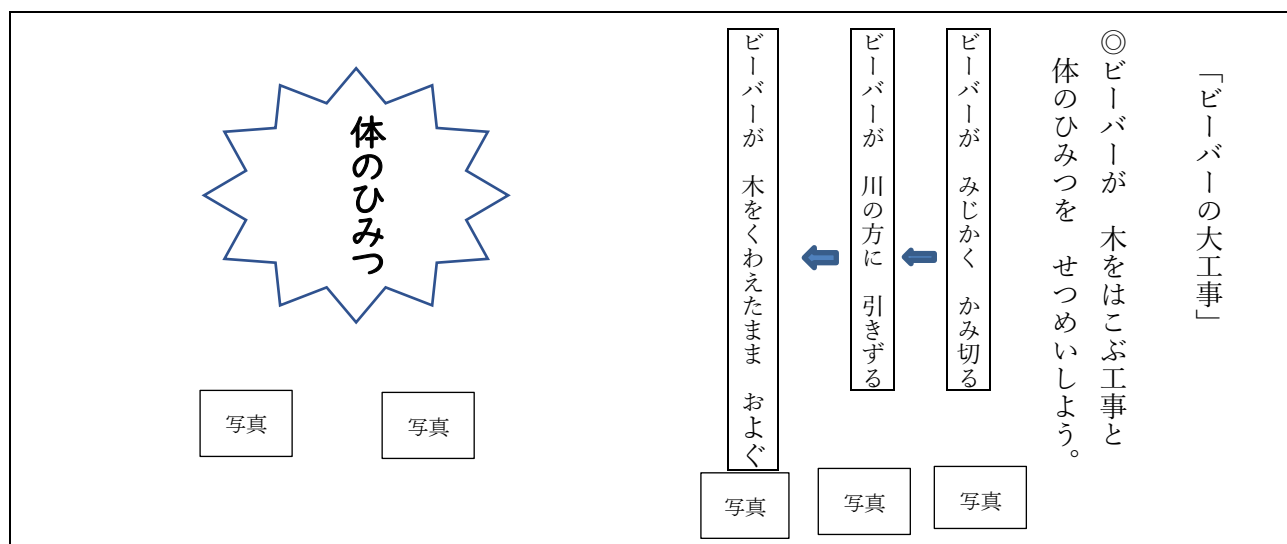
5 本時の展開（全8時間中の第4時）2組

本時の目標：重要な語句に気を付けて、ビーバーの工事の内容（木を運ぶ）と体のひみつを読み取り、説明することができる。

時間	学習活動	・指導上の工夫 ▲個別の支援	評価規準 （評価方法）
導入 3分	1 本時の学習課題をつかむ。 ビーバーが木をはこぶ工事と体のひみつをせつ明しよう。		
展開1 17分	2 形式段落⑧⑨を音読して、文の内容を確認する。 3 ⑧のダウト読みをする。 ① 木を、さらに みじかく →切る。(X) →かみ切る。(O) ・「切る」と「かみ切る」はどう違うか説明しよう(挿絵や動作化で説明する) ② 川の方に もっていく。(X) →引きずっていく。(O) T:「持って行く」と「ひきずっていく」はどう違うか説明しよう(動作化) ③ 木をくわえたままへたにおよぐ。(X) →上手におよぐ。(O) ・挿絵で説明する 4 工事の順序を確認し、動作化する。 T:ビーバーになって、木を運ぶまねをしてみよう。	・読む場所を確認してから、追い読み、一斉読みをする。 ・黒板にダウトのセンテンスカードを正しい順番で貼る。 ・ペアでやってみる。 【動作化】	 考えたい 木を運ぶビーバーの工事を動作化したり、ビーバーの体

展開2 20分	5 ⑨を音読して、上手に泳ぐビーバーの体のひみつについて考える。 T:ビーバーって泳ぐのが下手ですね。 C:ちがう!上手です。ひみつがある。 T:えっ、では、書いてみてください。 C:水かきがあるからね。 C:しっぽのかたちだよ。 T:挿絵を使って説明してみよう。 6 木を運ぶ工事が上手にできるビーバーの体のひみつについて、ペアで説明し合う。	・教科書本文の言葉をヒントに、ワークシートに読み取った言葉や絵を書かせる。 【ゆさぶり発問】 ・じょうぶな水かき ・ぐいぐいと体をおしすめる ・オールのような形 ・上手にかじをとる ▲教科書の挿絵を準備する。	のひみつを説明したりしている (動作化している様子の観察・ワークシート)  伝えたい
まとめ 5分	7 本時のめあてと学習内容を振り返る。	・木を運ぶ様子を動作化したり、上手に泳げる体のひみつを説明できたりしたことを確認する。	

6 板書計画



7 授業観察の視点

- (1) 本時のねらいが達成されていたか。そのための指導法が考えられていたか。
- (2) 児童が全力参加する姿が見られていたか。
- (3) 分かりやすく、考えを深めたり広げたりするために有効な発問であったか。